

トンネル工学研究発表会講演の手引

土木学会論文集 F1(トンネル工学)特集号編集小委員会

1. 講演者

プログラムに掲載された講演者が発表してください。変更があった場合は代理講演者とみなします。代理講演につきましては優秀講演賞(全員が対象)、優秀講演奨励賞(30歳以下が対象)の受賞対象とはなりません。

2. 講演者へのご注意

- 1) 発表会の各セッションの運営は、そのセッションの司会に一任されています。
- 2) 司会と講演者の打合せをセッション開始直前にその会場で行います。その際、司会より、講演順番、講演時間、討論時間などについて指示がありますので、これを遵守してください。
- 3) 発表時間は原則として、論文は20分、報告は15分です。時間内に発表が完了できるように、準備をお願いいたします。
- 4) 発表に際しては、液晶プロジェクターを使用します。パソコンの操作は、講演者自身または同伴者でお願い致します。
- 5) パソコンは全セッションに用意します。学会で用意するパソコンはCPU: Core i7-3520M(2.90GHz)、メモリ: 8GBです。なお、個別にパソコンの持込みを希望する場合は、事前に土木学会事務局(林 淳二, j-hayashi@jsce.or.jp)まで連絡をお願い致します。

3. 発表方法

- 1) 発表会場に備え付けのWindowsPC(Windows7 Pro 64)により、PowerPoint2013 または AcrobatReaderXI を使って発表していただきます。OHPによる発表は出来ません。MacintoshのPCでデータを作成された方は、パワーポイントファイルとPDFファイルの両者をご持参ください。
- 2) 発表データについて
 - a) 電子データをUSBメモリスティックもしくはCD-R(ファイナライズされたもの)に保存しご持参ください。それ以外のメディアはご利用いただけません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施していただくようお願い致します。
 - b) サイズは20MB以下を目安とし、これを越える場合も100MBを遵守してください。
 - c) スライドの縦横比は4:3としてください(会場のスクリーンの縦横比は4:3です)
 - d) 発表用ファイルの名前は演題番号としてください。また、わかりやすいように演題番号に続けて発表題目の先頭数文字を付加して下さい。

例えば、論文I-20、「山岳トンネル技術の変遷についての研究」であれば、
論文I 20(山岳トンネル技術の変遷).pptx
となります。
 - e) 動画データをご利用の場合はWindows Media Player V12.0に限らせていただきます。ただし、音声は利用できません。
 - f) フォントは標準装備されているものをお使いください。(MS明朝, MS Pゴシック, Times New Roman, Centuryなど)。特殊フォントや数式エディタは、正常に表示されないことが考えられるため、図形として作成し、パワーポイント上にコピー&ペーストして下さい。
 - g) ウィルス対策については、会場内の全てのPCにウィルス対策ソフトをインストールしていますが、ウィルス感染に関する責任は学会としては負いかねます。各自の責任で会場内のPCをご利用ください。また、発表の際に使用したメディアをお持ち帰りの後、ご自身のPCに接続する前に再度ウ

イルスチェックをしていただくようお願い致します。

3) 発表会場におけるの注意事項

- a) 発表セッションの 10 分前までにご自身の発表される会場に発表データをご持参下さい。遅れると発表できない場合がございます。
- b) 発表者の方は会場前方の席にて待機してください。
- c) トラブルにより発表順が変更になる場合もありますのでご了承ください。
- d) 発表終了後、会場担当係が責任を持ってファイルを削除致します。

4. 採点

講演は司会、副司会等の審査員によって採点され、優秀な講演者には優秀講演賞(全員が対象)、優秀講演奨励賞(30歳以下が対象)の表彰を行います。賞の受賞者はトンネル工学研究発表会のHP上で発表されます。

※ 受賞機会を多くの発表者に与えるという趣旨に鑑み、受賞が3回を超える方については表彰の対象外と致します。ご承知おき下さい。

採点は①～⑥の6項目を各5点満点とし、合計点で評価します。各セッションでの相対評価ではなく、絶対評価とします。

- ①理解を促す工夫がみられるか
- ②わかりやすい口調か
- ③プレゼンの図表は見やすいか
- ④プレゼンの文字は見やすいか
- ⑤講演時間を守ることができたか

5点	+15秒以内	-30秒以内
4点	+30秒以内	-1分以内
3点	+1分以内	-2分以内
2点	+1分30秒以内	-3分以内
1点	+2分以内	-4分以内

- ⑥質問に対する確に答えているか

※講演者以外の方が応答したことだけで評価を下げることはありません。

5. 討議

土木学会の方針に基づき、論文部門についてのみ、第28回トンネル工学研究発表会から、「web討議制度」を試行導入致します。具体的には、以下の方法により行います。

- ① 副司会が講演時の質疑応答を録音して、デジタルデータで講演者にお渡し致します。
- ② 講演者は、後日、質疑応答の要約を作成し、土木学会事務局に提出していただきます。ここで、議事要約の様式は自由とします。また、質問者、回答者の名前の掲載は自由と致します。
- ③ 編集小委員会は、主に体裁に関して編集を行い、編集小委員会 web サイトに掲示します。なお、土木学会事務局経由で、閲覧者からの質問を受け付けられるようにします。
- ④ 質問があった場合、講演者に連絡します。講演者は回答を作成し、土木学会事務局に回答頂きます。
- ⑤ 編集小委員会は、主に体裁に関して編集を行い、編集小委員会 web サイトに掲示します。

※ 上記①～⑤を実施することについて、あらかじめ講演前に、会場にて通知します。

2018/10/3 改訂